

開ける身振り。(例) 唐戸。掌を前向け五指の指頭を上にした両手をびったり左右に並らべて両手掌を同時に内側に向き返らせて両手を左右に開く。(例) 扉(ドア) 五指の指頭を上にしたし掌を前に向けた左手の甲(親指の背辺り)に右手でハンドルを持つ心持ちで右へぐるりと廻わすと同時に左手掌を内側に向き返らせる。

塔 「家」の手まねをそのまま上へ上へと三度ばかり重ねて表わし最後に左手をそのままの姿態で残し右手の指頭を上にした人差指(塔の五輪)のつけ根を左手の中指の指頭につける。

遠い 「大層」の手まねを、その腕の前に伸ばして表わす。

とうとう 「遂に」「終り」と同じ手まね

問う 「訊く」「尋ね」と同じ手まね。

銅 茶色—金属

答案 「答え」と同じ手まね。

同意 (例) 考え—同じ。(例) 「賛成」と同じ手まね。

統一 「統べる」と同じ手まね。

討議 「議論」と同じ手まね。

峠 山—道(くねくねと上り道を表わして、次に下り道を表わす)

動作 「行い」と同じ手まね。

倒産 「家」の手まねをして、その両手の掌をびしゃりと合わせる。家がつぶれたこと

同志 心—味方。

同時 時—一緒。

党首 政党—主(男性を表わした親指を少し上に上げる)

投手 指頭を前方にさした左手の人差指に、指頭を左にさした右手の人差指と親指を少しまるめて曲げてその指頭をつけてPの形をつくる。ピッチャーのPである。

同情 「思いやり」と同じ手まね。

当选 「選挙——勝つ」。

当然 「きまり」と同じ手まね。

同窓 掌を前向けて、五指の指頭を集め合  
わせた両手を左右にびったりと並らべてか  
ら、左右に離し次に両手を平行に下へ降す。

「同」の字の「冂」の形を描いたもの。「同  
窓会」はそれに「会」の手まねをつけ加える  
銅像 銅—造る—人の像（両手で空間に人  
体の輪郭を描く）

盜賊 盜む—賊。

燈台 「照らす」の手まねをしてその手を  
前方から左へ右へと動かす、四方に照らすこ  
と。

盜難 「盜む」の受身、即ち盜まれた（人  
差指をかぎ形に曲げたのを自分の体に向け前  
方へ引き出す）

同輩 同僚 「味方」と同じ手まね。

當番 「責任」と同じ手まね。

豆腐 「白」の手まねをして、掌を上向け  
た左手の上に、右手（五指の指頭を前方にさ  
し掌を左側にした）を鉤丁として豆腐屋が豆  
腐を縦に横に切る身振。

動物 獸—鳥—虫いろいろ。

逃亡 「脱走」と同じ手まね。

透明 五指の指頭を上にして掌を内側に  
した左手を（透明体）前にして、掌を下に向  
け人差指と中指の指頭を前方にさした右手を  
眼もとにつけて（視線）から、左手に向って  
その指の間に右手の二指を突き通うらせる。

同盟 「連盟」と同じ手まね。

統領 統べる—主（男性を表わした親指  
を少し上にさじ上げる）

時 時の流れ 時間時代の経過 右手（手  
甲を上向けた）の指頭前方直角にした人差指  
を右から左へ空間に線を描いて移行させる。